【実行団体用】

事業完了報告書

提出日：令和５年　４月　９日

１．事業概要

（１）実行団体名：NPO 法人北海道レインボー・リソースセンター　L-Port
（２）事業名　：SNS によるセクシュアル・マイノリティ専門相談「にじいろ TalkTalk」
（３）事業実施期間：令和２年４月１日～令和５年３月 31 日
（４）資金分配団体名：一般社団法人 北海道総合研究調査会［HIT］

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
ただし、・職員の給与等に関する規程(2)給与の計算方法・支払方法については雇用する予定が当面ないため未整備。
（２）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　一部未公開　／　未公開
https://l-port.net/news/uneikitei/
（３）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
（２）　内部通報制度は整備されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可）
☑　内部に窓口を設置 ／　☐　外部に窓口を設置 ／　☐　JANPIA の窓口を利用

（3）	利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
（4）	関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
（5）	コンプライアンス責任者を設置していましたか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
（6）	ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
	☑ はい ／ ☐ いいえ
（7）	団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
	☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
実施者：佐藤真紀子 実施時期：2022 年 5 月 1 日～5 月 10 日	
（8）	本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
	☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☑ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	アリス・オズマン著、牧野琴子訳『HEART STOPPER ハートストッパー4』（トゥーヴァージンズ、令和 4 年 6 月） 『LGBT だけじゃない！わたしの性』シリーズ（全 4 巻）内、佐々木掌子監修『ジェンダー・アイデンティティ』、長谷川奉延・佐々木掌子監修『からだの性』（国土社、令和 4 年 6 月）、佐々木掌子監修『好きのありかた』（国土社、令和 4 年 11 月） 佐々木掌子監修『性役割/性別表現』（国土社、令和 4 年 1 月） NPO 法人レッドリボンさっぽろ発行『相談&サポート団体リスト』 北海道新聞（令和 4 年 12 月 3 日、令和 5 年 2 月 12 日、令和 5 年 3 月 17 日） STV ラジオ　Knock on the Rainbow（令和 5 年 2 月 12 日）
広報制作物等	有	SNS 相談カード（令和 4 年度は計 18,625 枚配布） 報告会告知チラシ（400 枚） 団体紹介パンフレット（20,200 部）
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

L-Port としては本助成のような規模の資金を用いて活動すること自体が初めてで、組織基盤も開始時点では正式な事務局も設置されていない状態であったため、助成の条件として設けられていた定款の見直しや規定整備、会計・経理のノウハウなどをはじめ、今回の事業でかなり基礎的なところが固まったように思います。また、伴走支援という形で専門家についていただけたことで、定期的に外部へ相談する機会もつくられ、安心して事業を継続していく大きな助けとなっていました。新たに認識した課題としては、全員がボランティアとして他の仕事と兼ねながら活動していることもあり、ところどころで中核となるメンバーに負担が偏ってしまう傾向があった点かと思います。人員の確保は恒久的な課題ではあると思いますが、事業を長く続けていくためにも、無理なくたくさんの人に関わってもらえるような仕組み、仕掛けを作っていく必要があると感じます。

改善を求めたい事項としては、情報提供いただくセミナーなどが基本的に平日日中であることが多かったため、仕事を他に持っているメンバーはなかなか参加しにくい面がありましたので、後日配信で録画を見られるような仕組みなどがあると助かると感じました。

とはいえ、そうした団体固有の事情なども、伴走してくださるスタッフさんがよく汲み取ってくださり、調整していただけたことで、この 3 年間事業を継続していくことができたと感じています。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

写真説明

※SNS 相談中の写真については守秘義務順守のため使用できませんので、助成金を利用して行った関連活動の記録を提出させていただきます。ご了承いただけますと幸いです。

1

令和 5 年 3 月にレインボーグッズ販売を行った際の写真です。グッズ作成のための資金として助成金の一部を利用させていただきました。レインボーは多様性の象徴、LGBTQ+に対するエンパワーメントを表す色で、身に着けたり生活に取り入れたりすることで連帯を示したい、というニーズに応えるものになっています。売り上げは活動資金にするほか、様々なイベントで販売を行うことで、SNS 相談をはじめ L-Port の活動の周知にも役立っています。

2

1 で示したレインボーグッズの中でも売れ行きの良い木製のバッジの写真です。道産の木材と色紙を重ねて作成されています。スーツなどにも併せやすいので学校の先生や議員などにもご購入いただいています。例えば、そばに当事者の子どもがいたら何か支援をしたい、と考えた際に、レインボーの小物を身に着けることで意思を示すようなツールの一つとしてもお使いいただきたいと考えています。

3

SNS　相談の広告宣伝ツールである名刺サイズのカードです。この相談場所を知った場所としてインターネットの次に多いのがこのカードで、講演を行った学校や公共施設等で配らせていただいたり、メール等で「自分のいる学校で配りたいのでまとまった数が欲しい」といった要望が来た時には都度郵送させていただいたりしています。助成期間の令和 2 年4月から令和 5 年 3 月までで計 48,500 枚のカードを各地へ配らせていただきました。

4

令和 5 年 2 月 26 日に行った SNS 相談と居場所作りの合同実績報告会「NiJIIRO 実績報告会」にて報告中の写真です。札幌市内の会議室での実地参加と Zoom によるオンライン参加併用で、併せて 26　名の方にご参加いただきました。相談件数などの実績値、実際に相談した方の意見等をはじめ、今後の展開として SNS　相談で繋がった当事者へオフラインの居場所というセカンドドアの選択肢を提供する試みなどについてもお話させていただきました。

5

先述した報告会について取材していただいた北海道新聞様の記事です。SNS 相談の持つ「声で性別を判断されない」「対面や電話に抵抗のある人でも使いやすい」というメリットを記載していただいています。また、居場所作りの活動であるにじいろ談話室についても、今後の展望として出張型の事業として展開したいという展望を掲載していただきました。

NPO法人
エルポート

にじいろ talk-talk

LINE

Twitter @LLinq2018

セクシュアリティ相談

はじめました。

Try talking on LINE

誰にも話せない悩みを話してみませんか。

恋愛感情を抱かないってヘン？
同性をスキになったかも
性別に違和感がある…

セクシュアリティに関する
悩みを専門にお聴きします

対象

主に **中・高・大学生** や **若年層**

日時

相談日	（ LINE でお知らせ ） 毎月 **2** 回
時　間	18:50～21:50

方法

1. QRコードを読み取る
2. 「友達登録」する
3. 相談日に相談をする

にじいろ talk-talk

NPO 法人 北海道
レインボー・リソース
センター L-Port

札幌市男女共同参画セ[illegible]

内容別相談件数(2019年9月~2022年2月)
性別について
家族について
学校・仕事について
骨髄について
カムアウトについて
恋愛について
LGBTコミュニティ情報について
その他
不明
0
50
100
150
200
250
300
350
400

北海

人生100年時代 ケア

性的少数者 悩みはLINEで

札幌で報告会

若者からの相談 過去最多415件

道内のLGBTQなど性的少数者を支援するNPO法人「北海道レインボー・リソースセンター」Port（エルポート）」（札幌）は、本年度の活動実績に関する報告会を札幌市内で開いた。

同団体は、無料通信アプリLINE（ライン）で若者の悩みを聞く「にじいろtalk－talk（トークトーク）」と、若者が交流する場所「にじいろ談話室」の開催を主体に活動している。

「にじいろtalk－talk」は月2回で1回3時間、独自に養成した相談員がLINEで話を聞く。昨年4月から今年2月4日までに計21回行い、過去最多の415件の相談が寄せられた。相談者は10代以下が約6割、20代が約3割を占めた。交流サイト（SNS）や学校の講演会で周知した結果、2021年度の372件を上回った。

2月26日の報告会で、代表理事の中谷衣里（えり）さん(31)は「（文字でのやりとりは）声で性別を判断されず、電話や対面に抵抗感のある人も使いやすい」と述べた＝写真＝。

「にじいろ談話室」は22年4月から札幌市内で計9回実施し、延べ121人が参加した。今後は道内の各地域に出張して行う予定で、中谷さんは「それぞれの地域に住む（LGBTQなど）当事者と連携して共同で開き、ノウハウを共有していきたい」と呼び掛けた。（有田麻子）